

伊丹市長 藤原 保幸 様

## 私達は図書館本館の建設・移転計画の中止を求める要望書

衆議院総選挙の結果政権が代わり、国政は箱モノ中心の政治から、市民生活重視の政治に大きく変わろうとしています。ところが、伊丹市政では、相変わらず従前のやり方(箱モノ重視)を変えようとしていません。

千僧の図書館を宮の前に移転しようとする計画は、その必要性、効果を疑問視することが多数あり、複数の市民団体から12,000名を超える反対署名が提出されましたが、市長はこれを無視して強行しようとしています。

私たちはすでに図書館本館をはじめ、分館、分室を合わせ、6館を有しており、今後とも本館を建て替える必要は一切ないと判断しています。市が進めようとしている「本の杜構想」は現在の図書館の改築・充実と小中学校の図書室の地域開放でもって十分に進めることができます。

また、伊丹市の借金総額(連結決算)は、1,458億円もあり、市民ひとりあたり 75 万円となり、来年度の税収の大幅落ち込みは経常経費の圧縮をも余儀なくしています。このような財政状況下で、これ以上市民に付けを回すことは、為政者としてあるまじき行為です。

以上のことから、私達は図書館移転建設に、強く反対の意思を表明するものです。

氏 名	住 所